

東久留米市立第六小学校 第1学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	・音読や物語の心情の読み取り等が苦手な児童がいる。	・授業中に様々な読み方を実践し、音読の機会を増やす。 ・誰が何をしたのか、誰の言葉を意識させながら物語の読み取りを行う。 ・毎日音読の宿題を出し、保護者に聞いてもらうことで意欲付けを行う。	・音読発表会をし、それぞれの児童の音読の様子を確認する。（学期に1回） ・2学期からのテストで平均8割取ることができるようになる。
	・平仮名や片仮名、漢字を使用した文を読んだり書いたりすることの個人差が大きい。	・理解が十分でない内容については朝学習を活用して繰り返し指導する。 ・書き方のよい児童を取り上げる。	・ミニテストを行い、正答率が8割以上になるようにする。（月2回程度）
算数	・数の構成などを十分理解していない児童や、文章題につまずく児童がいる。	・タイルやブロックを使用し、5のまとまりと10のまとまりを意識できるように繰り返し指導する。 ・問題をよく読む習慣を付けるために、声を出して読んだり、大切な数やキーワードに印を付けたりさせる。	・2学期からのテストで正答率が8割以上になるようにする。
生活	・生活体験の差が大きく、季節の感じ方、活動に対する意欲に個人差がある。	・春、夏、秋、冬の各季節ごとに体験活動を行い、人や物と積極的に関わることができるよう、計画的に進める。	・観察カードやワークシートなどを通して、工夫や気づきを8割以上の児童が表現できる。
音楽	・意欲的に取り組むが、集中力が持続しない児童もいる。	・子供たちが興味をもてるよう、教材を工夫する。 ・いろいろなリズムの曲や手遊び歌など、身体表現活動を多く取り入れ、楽しい雰囲気をつくる。	・友達と一緒に活動することを楽しみ、範唱に合わせて歌ったり、体を動かしたり、楽器を演奏することができる。（9割以上）
図画工作	・自分の思いや考えを表現することが苦手な児童がいる。	・友達と考えを交流する時間を設け、表現したいことを膨らませて創作活動ができるようにする。 ・思いや考えを安心して表現できるよう、個別に声をかけたり励ましたりして自信をもたせる。	・8割以上の児童が、各単元の終わりに設定した交流タイムにおいて、作品に対する自分の思いや考えを表現できる。
体育	・体の動かし方を十分に理解できていない児童がいる。	・体づくり運動や多様な運動遊び等を通して、いろいろな動きに繰り返し取り組めるようにする。 ・集合や整列を素早くさせ、教師の説明と指示を明確にして運動量を確保する。	・グループごとに活動を見合う機会を設けるとともに、児童の実態を見取る。（各単元1回以上）

道徳 特別 の 教科	・自分なりの意見をもつことができない児童がいる。	・教材提示の仕方をさらに工夫し、児童が学習内容を十分理解できるようにする。 ・教材に応じて、少人数による意見交流の場を設ける。	・9割以上の児童がワークシートに自分の意見を書くことができるようにする。
---------------------	--------------------------	--	--------------------------------------